



企業を牽引する計算科学高度技術者の養成



戦略推進費 平成22年度 文部科学省 科学技術振興調整費(現在、科学技術戦略推進費) 採択事業

企業のHPCシミュレーション技術者育成に全面協力します。
※HPC=ハイ・パフォーマンス・コンピューティング

地域に集約している「ものづくり産業」を次世代型製造業に転換させるため、**神戸大学、兵庫県と計算科学振興財団**は、地域企業の密な連携協力のもとで、社内で最先端数値シミュレーション技術の導入・利活用を牽引するリーダーの養成を目指します。

本事業の流れ



受講生 (企業の計算機シミュレーション担当技術者)
企業A、企業B



相談

テラー相談員 (テラー相談室)

各企業に合わせたテラーメイド・カリキュラムを作成し、提案

無料!



企業Aへの提案

- 計算科学演習 I、数値解析学の講義・演習
- MPI基礎、可視化基礎シミュレーションスクールを受講して下さいね!

企業Bへの提案

- 計算科学基礎、プログラミング演習 II の講義・演習
- MPI応用編シミュレーションスクールを受講して下さいね!

シミュレーション相談室

例) 自社ソフトを並列化したいけど、具体的にどうすれば良い?

シミュレーションスクール

- 並列化、可視化データ解析に関する基礎スクール

テラーメイドカリキュラムに従って受講開始

神戸大学の講義・演習とe-Learning

- 大学講義等へのピンポイント受講
- e-Learning環境活用による自習



本事業の効果

- 企業に最先端シミュレーション技術の導入・普及を加速
- 研究開発や設計プロセスの劇的な高度化・高効率化
- 産学間共同研究の推進